

島根大学 汽水域研究センター

〒690-8504 松江市西川津町1060 TEL・FAX (0852) 32-6099

<http://kisuiiki.soc.shimane-u.ac.jp>E-mail : kisui@soc.shimane-u.ac.jp

—汽水域研究懇談会の活動から—

干潟生態系の機能評価と分類に関する試み

「干潟生態系の機能評価と分類に関する試み」と題して、第42回汽水域研究懇談会が10月13日に開かれました。話題提供者は、センターの非常勤研究員一期生であり、現在国立環境研究所生物圏環境部に勤務する矢部徹氏でした。発表内容は、国立環境研究所プロジェクト「干潟等湿地生態系の管理に関する国際共同研究」の一環として行われている、干潟の物質生産、蓄積、循環能および生物多様性と干潟の水文地理的特徴との関連づけをすることを目的とした研究の紹介でした。従来の干潟調査は、主に鳥類の中継地、採餌場としての機能に重点をおいたものが多く、干潟生態系のもつ多様な機能について議論することは少なかったようですので、今後の展開が大いに期待される発表内容でした。なお、今回の懇談会は、前号のニュースレターに紹介されている「汽水域における水生絶滅危惧植物の保全と修復」の調査のために、矢部氏が来松した機会を利用して行われたものです。

(國井記)



米子水鳥公園での調査風景

(右が矢部徹氏、左側の人物は水鳥公園の職員でセンターの客員研究員でもある神谷要氏)

○雑誌紹介○



エルゼビア社が発行する'Journal of Marine Systems'の26巻2号(2000年10月)で宍道湖・中海に関する特集が組まれています。10編の論文中8編が生物に関する論文で、ホトトギスガイの季節変化のほか、ヤマトシジミの水質浄化に関連する論文、あるいは魚や水鳥、海藻類に関係した論文など、多様な内容となっています。センター書架にて開架中ですので、是非ご覧下さい。

